

令和8年度

学 生 募 集 要 項

— 歯 学 研 究 科 —

一 般 入 試

社 会 人 入 試

歯学研究科 3つのポリシー

めざす人間像

教育目標が達成された場合に社会に送り出しうる人物像として、以下のような人物像を描いています。

- ① 継続した研究意欲と独創的な科学的視野を持つ人。
- ② 医療人として十分な知識と技術を持ち、自覚と責任に溢れ、幅広い教養と慈愛に満ちた人。

人材の養成・教育研究上の目的

歯学研究科は、「行学一体・報恩感謝」の精神に則り、学部における教育の基礎の上に、高度にして深遠な歯科医学の専門的知識と技術を習得し、臨床歯科医学の実践を通して人類の福祉に貢献するとともに、医学・生命科学の深奥を究めて文化の創造・発展に寄与することのできる良識のある人材の養成を目的とします。

そのための教育研究上の目的は、①研究者として高度な専門的学術の理論と技術およびその応用能力を身につけ、それらをさらに発展させるために必要とされる研究能力、②臨床歯科医として専門分野に関する高度の知識と技術を習得し、それらをさらに発展させるために必要とされる研究能力に加えて、患者を対象とする高度の臨床研究を遂行しうる能力の養成とします。

修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー、DP）

歯学研究科は、大学の教育理念・目標を達成するために、大学院学生に豊かな人間性と高い倫理観を備えることを求め、以下の学習成果を修得し、専攻分野における新知見を提示して、将来、高度な研究活動または専門的業務に従事しうると判定された人に博士（歯学）の学位を授与します。

- ① 専攻する領域についての深い学識とその応用力を身につけている。
- ② 自立的研究能力と共に、多領域の専門家と協同して研究を遂行できる基礎的学識を身につけている。
- ③ 患者を対象とする臨床研究に従事する者にあつては、専門領域における高い臨床能力と共に、倫理面にも配慮した臨床研究の遂行能力を身につけている。
- ④ 愛知学院大学の建学の精神を修得している。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー、CP）

歯学研究科では、本学の建学の精神「行学一体 報恩感謝」を深く理解したうえで、修了認定・学位授与の方針（DP）に掲げた目標を達成するために、以下のような教育内容と方法を取り入れた授業を実施し、教育評価を行います。

【教育内容】

- ① 研究者として高度な専門的学術の理論と技術およびその応用能力を身につけ、それらを更に発展させるために必要とされる研究能力を培う。
- ② 臨床歯科医として専門分野に関する高度の知識と技術を修得し、それらを更に発展させるために必要とされる研究能力に加えて、患者を対象とする高度の臨床研究を遂行しうる能力を培う。

【教育方法】

- ① 専門分野について深い研究を行い得る研究者の養成に加え、優れた研究能力などを備えた医療系人材の養成が求められているという社会の実情を鑑み、相互の連携を保つように配慮された上記の2つの教育内容を、大学院学生に選択履修させる。
- ② 体系的な教育を提供するという課程制大学院の趣旨を尊重し、コースワークの充実など、組織的な教育課程の編成と実施に務める。

【教育評価】

到達目標に応じた学修成果を多面的に評価する。

入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー、AP）

歯学研究科は、優れた人材を公正かつ妥当な方法で選抜するという方針に基づき、修了認定・学位授与の方針（DP）及び教育課程編成・実施の方針（CP）に定める教育を受けるのにふさわしい、以下に掲げる人を受け入れます（学部教育終了後、一定の社会経験を有し、その経緯に基づいて入学を希望する社会人も受け入れます）。

- ① 愛知学院大学の建学の精神を理解できる社会人として、広く世の各界に寄与し、人類の福祉と文化の発展に貢献しようとする人。
- ② 学部教育を通して修得した素養に基づいて、高度な専門的学術の理論とその応用を研究し、広い視野と深い専門分野への造詣を備えた研究者・医療人へと成長しようとする人。

大学院歯学研究科博士課程の概要

本研究科は、建学の精神である「行学一体・報恩感謝」に則り、歯科医学の理論と応用に基づく独創的研究により深奥を究め、人類の健康・福祉に貢献するとともに、歯学医学の指導者を養成することを目的として昭和43年4月より設置されています。

専攻科目（授業科目）は歯科基礎系と歯科臨床系の2つに大別されています。前者には口腔解剖学、口腔生理学、口腔生化学、口腔病理学、口腔微生物学、歯科薬理学、歯科理工学、後者には歯科保存学、歯科補綴学、口腔外科学、歯科矯正学、小児歯科学、歯科放射線学、口腔衛生学、歯科麻酔学、歯科病態内科学、歯科病態関連外科学があります。

本研究科では4年以上在学し、主科目、副科目、選択科目合わせて30単位以上を修得することになっています。学位論文は主科目について提出します。

昭和43年4月に設置されてから、昭和47年3月に初めて歯学博士を輩出し、以来、大学院修了者と論文提出者を併せて、令和7年3月現在1,453名の歯学博士・博士（歯学）を世に送り出しています。

個人情報の取り扱いについて

出願および入学手続においてお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、個人情報保護法に基づき入試に係る業務についてのみ使用します。上記業務以外での目的では一切使用しません。

目 次

歯学研究科（博士課程）学生募集要項

一般入試	1～4
社会人入試	5～8

歯学研究科案内

1. 授業科目及び担当教員	9
2. 研究内容	10
3. 履修方法	15
4. 学位の授与	15
5. 奨学金制度	15
6. 長期履修学生制度	15
7. 早期修了制度	15

参 考

専攻生・研究生	16
---------------	----

歯学研究科（博士課程）学生募集要項 一般入試

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者。

- (1) 大学の医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程（修業年限6年）を卒業した者及び卒業見込みの者
- (2) 外国において、学校教育における18年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了した者及び修了見込みの者
- (3) 外国の大学等において、修業年限が5年以上（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (4) 文部科学大臣の指定した者
- (5) 本大学院において、個別の入学資格審査により、専攻しようとする領域について、大学の医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する過程（修業年限6年）を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの

[注] 出願資格(4)及び(5)による志願者及び外国人留学生は、事前に出願資格の審査※を受けその結果に基づき出願できる。

※公益財団法人日本国際教育支援協会と独立法人国際交流基金が実施する「日本語能力試験（N1）」に合格した者、またはそれに準ずる日本語能力を有する者であること。

2. 募集定員

歯学研究科 歯科基礎系・歯科臨床系 18名

3. 専攻科目

歯科基礎系：口腔解剖学、口腔生理学、口腔生化学、口腔微生物学、

口腔病理学、歯科薬理学、歯科理工学

歯科臨床系：歯科保存学、歯科補綴学、口腔外科学、歯科矯正学、小児歯科学、歯科放射線学、

口腔衛生学、歯科麻酔学、歯科病態内科学、歯科病態関連外科学

4. 出願期間・試験日・試験場

	出 願 期 間	試 験 日	試 験 場
秋 季	令和7年9月29日（月） ） 令和7年10月24日（金） 16時必着	令和7年11月17日（月） 午前9時から	名古屋市千種区末盛通2-11 愛知学院大学 末盛キャンパス 臨床教育研究棟 2F 講義室
春 季	令和7年12月1日（月） ） 令和8年1月16日（金） 16時必着	令和8年1月26日（月） 午前9時から	

願書受付場所 名古屋市千種区末盛通2-11 愛知学院大学大学院歯学研究科入試係
(土曜日、日曜日、祝日及び年末年始休日(12/27～1/5)を除く、午前9時から午後4時まで。)

5. 出願手続

(1) 入学検定料 35,000 円

- ① 検定料は、次の振込先口座へ期間内に振り込んでください。
- ② 振込先口座 三菱UFJ銀行 今池店 普通 1474931 愛知学院大学
※振込依頼人名に整理番号として「シガク」と「受験者氏名」を（全角カナ）で入力してください。

入力見本 シガク アイガクタロウ

- ③ 一度納入された入学検定料は返還しません。
- ④ 振込手数料はご負担ください。
- ⑤ 振込期間

	入学検定料納入期間
秋 季	令和7年9月29日（月）～令和7年10月31日（金）
春 季	令和7年12月1日（月）～令和8年1月9日（金）

(2) 提出書類

出願者は、下記の書類を取り揃えて期間内に入試係（末盛キャンパス）へ提出してください。

- ① 入学志願票（本学院所定用紙に、写真を貼付）※
- ~~② 受験票（入試係よりメールで送付された本学院所定用紙に写真を貼付）~~
- ③ 出身大学の成績証明書（外国大学の場合は日本語訳も必要）
- ④ 卒業見込証明書または卒業証明書（外国大学の場合は日本語訳も必要）
- ※ 入学志願票の電子データをご希望の場合は、入試係（末盛キャンパス）へお問い合わせください。

なお、入学志願票を提出する前に専攻科目の指導教授へ出願者本人が署名捺印を依頼し取り付けること。

外国人留学生の方は、下記の書類も提出してください。

- ① 住民票（在留資格が記載されているもの）
- ② 在留カード（両面）コピー
- ③ パスポートの写真ページのコピー
- ④ 身元保証書（身元保証人は日本に居住する日本人もしくは日本永住者）※
- ⑤ 保証人の住民票記載事項証明書 ※
- ⑥ 保証人の在職証明書 ※
- ⑦ 保証人の前年の総所得額についての市区町村長の証明書または源泉徴収票 ※
- ※ ④～⑦の電子データをご希望の場合は、入試係（末盛キャンパス）へお問い合わせください。

出願上の注意事項

- ・提出書類が不備の場合は受理できませんので書類の確認を行ってから提出してください。
- ・入学検定料、提出書類等は、いかなる理由があっても返還しません。

[注] 外国人留学生とは、日本国籍を有しない者。ただし、永住者の在留資格を持って在留する者、または平和条約国籍離脱者等入管特例法に定める特別永住者は除く。

6. 試験科目

一 般	英語Ⅰ（専攻科目に関連した英語） 必修	100 点
	英語Ⅱ（一般英語） ・ 独語 ・ 仏語から1科目選択	100 点
	専攻科目に関する試験	100 点
	面接試験	
外国人留学生	英語Ⅱ（一般英語） ・ 独語 ・ 仏語から1科目選択（自国語を除く）	100 点
	日本語（基礎学力）	100 点
	専攻科目に関する試験	100 点
	面接試験	

7. 試験時間

	9 : 00 ~ 9 : 10	9 : 10 ~ 11 : 10	12 : 00 ~ 14 : 00	14 : 10 ~
一 般	受験注意	英 語 I	英語Ⅱ・独語・仏語 から1科目選択	専攻科目に関する 試験・面接試験
外国人 留学生	受験注意	英語Ⅱ・独語・仏語 から1科目選択	日本語	専攻科目に関する 試験・面接試験

8. 合格基準

一 般	必修外国語試験	選択外国語試験	専攻科目に関する試験	面接試験
	2科目平均 60 点以上		60 点以上	適・否
外国人 留学生	選択外国語試験	日本語試験	専攻科目に関する試験	
	2科目平均 60 点以上		60 点以上	

9. 受験注意

- (1) 受験生は、試験開始 10 分前までに試験場に入室してください。
- (2) 試験場には受験票、筆記具、辞書（電子辞書は不可）を持参することができます。
- (3) 答案はボールペンで記入してください。
（フリクションボールペン等の消せるペンは使用不可）

10. 合格発表

	試 験 日	合格通知発送日
秋 季	令和 7 年 11 月 17 日（月）	令和 7 年 12 月 10 日（水）
春 季	令和 8 年 1 月 26 日（月）	令和 8 年 2 月 25 日（水）

合格者には、本人宛に合格通知書、および入学手続書類を発送します。
不合格の場合にも文書で通知します。

11. 入学手続

- (1) 入学手続については合格通知書に同封する入学心得に従ってください。
- (2) 入学手続締切日 秋季: 令和 7 年 12 月 19 日（金） 春季: 令和 8 年 3 月 6 日（金）
- (3) 入学手続に必要なものは下記のとおりです。
 - ① 学納金
 - ② 在学誓書（本大学院所定用紙）
 - ③ 入学時健康調査票
 - ④ 外国人留学生の方は、住民票、在留カード（両面）コピー、パスポートの写真ページのコピー

注意事項

- (1) 一度納入した学納金は、いかなる事情があっても返還しません。
- (2) 入学手続完了後やむを得ず入学を辞退する場合は、速やかに文書で届け出てください。
- (3) 金融機関の窓口で 10 万円を超える現金での振込を行う場合は、振込を行う者の本人確認書類（運転免許証、マイナンバーカード、パスポート等）の提示が必要となりました。

12. 学 納 金

項 目	金 額 (円)	納 入 方 法	項 目	金 額 (円)	納 入 方 法
入 学 金	※ 600,000	本学出身者は半額免除	歯学会入会金	※ 1,000	本学出身者は不要
授 業 料	1,130,000	実習費を含む 年2期に分納	歯 学 会 費	5,000	1 年分 (本学出身者は不要)
教育充実費	200,000	年2期に分納	災害共済会費	800	1 年分
計	1,930,000		計	6,800	

※印は入学時のみ

入学時納入金額 1,271,800 円 本学出身者の入学時納入金額 965,800 円

◆留学生の学納金については減免措置があります。詳細は歯学部事務室にお問い合わせください。

◆学納金は次年度以降において改定される場合があります。

13. 照会及び出願書類受付場所

〒464-8651 名古屋市千種区末盛通2-11

歯学部事務室（愛知学院大学大学院歯学研究科入試係）

TEL 〈052〉759-2111（代表）

14. そ の 他

入学試験問題は、前年度実施分の英語Ⅱ（一般英語）に限り歯学部事務室で配布しています。

歯学研究科（博士課程）学生募集要項 社会人入試

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者で、入学時において、最終学歴修了後3年以上の社会経験を有する者（社会経験には、歯科医師臨床研修医の経験を含む）

- (1) 大学の医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程（修業年限6年）を卒業した者
- (2) 外国において、学校教育における18年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了した者
- (3) 外国の大学等において、修業年限が5年以上（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (4) 文部科学大臣の指定した者
- (5) 本大学院において、個別の入学資格審査により、専攻しようとする領域について、大学の医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程（修業年限6年）を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの

[注] 出願資格(4)及び(5)による志願者及び外国人留学生は、事前に出願資格の審査※を受けその結果に基づき出願できる。

※公益財団法人日本国際教育支援協会と独立法人国際交流基金が実施する「日本語能力試験(N1)」に合格した者、またはそれに準ずる日本語能力を有する者であること。

2. 募集定員

歯学研究科 歯科基礎系・歯科臨床系 若干名

3. 専攻科目

歯科基礎系：口腔解剖学、口腔生理学、口腔生化学、口腔微生物学、
口腔病理学、歯科薬理学、歯科理工学

歯科臨床系：歯科保存学、歯科補綴学、口腔外科学、歯科矯正学、小児歯科学、歯科放射線学、
口腔衛生学、歯科麻酔学、歯科病態内科学、歯科病態関連外科学

4. 出願期間・試験日・試験場

	出 願 期 間	試 験 日	試 験 場
秋 季	令和7年9月29日(月) ↓ 令和7年10月24日(金) 16時必着	令和7年11月17日(月) 午前9時から	名古屋市千種区末盛通2-11 愛知学院大学 末盛キャンパス 臨床教育研究棟 2F講義室
春 季	令和7年12月1日(月) ↓ 令和8年1月16日(金) 16時必着	令和8年1月26日(月) 午前9時から	

願書受付場所 名古屋市千種区末盛通2-11 愛知学院大学大学院歯学研究科入試係
(土曜日、日曜日、祝日及び年末年始休日(12/27～1/5)を除く、午前9時から午後4時まで。)

5. 出願手続

(1) 入学検定料 35,000 円

- ① 検定料は、次の振込先口座へ期間内に振り込んでください。
- ② 振込先口座 三菱UFJ銀行 今池店 普通 1474931 愛知学院大学
※振込依頼人名に整理番号として「シガク」と「受験者氏名」を（全角カナ）で入力してください。

入力見本 シガク アイガクタロウ

- ③ 一度納入された入学検定料は返還しません。
- ④ 振込手数料はご負担ください。
- ⑤ 振込期間

	入学検定料納入期間
秋 季	令和7年9月29日（月）～令和7年10月31日（金）
春 季	令和7年12月1日（月）～令和8年1月9日（金）

(2) 提出書類

出願者は、下記の書類を取り揃えて期間内に入試係（末盛キャンパス）へ提出してください。

- ① 入学志願票（本大学院所定用紙に、写真を貼付）※
 - ~~② 受験票（入試係よりメールで送付された本大学院所定用紙に写真を貼付）~~
 - ③ 出身大学の成績証明書（外国大学の場合は日本語訳も必要）
 - ④ 卒業証明書（外国大学の場合は日本語訳も必要）
 - ⑤ 出願理由説明書（本大学院所定用紙）※
 - ⑥ 研究計画書（本大学院所定用紙）※
 - ⑦ 就業証明書（任意）
- ※ 入学志願票、出願理由説明書、研究計画書の電子データをご希望の場合は、入試係（末盛キャンパス）へお問い合わせください。
- なお、入学志願票を提出する前に専攻科目の指導教授へ出願者本人が署名捺印を依頼し取り付けること。

外国人留学生の方は、下記の書類も提出してください。

- ① 住民票（在留資格が記載されているもの）
 - ② 在留カード（両面コピー）
 - ③ パスポート（写真ページのコピー）
 - ④ 身元保証書（身元保証人の日本に居住する日本人もしくは日本永住者）※
 - ⑤ 保証人の住民票記載事項証明書 ※
 - ⑥ 保証人の在職証明書 ※
 - ⑦ 保証人の前年の総所得額についての市区町村長の証明書または源泉徴収票 ※
- ※ ④～⑦の電子データをご希望の場合は、入試係（末盛キャンパス）へお問い合わせください。

出願上の注意事項

- ・ 提出書類が不備の場合は受理できませんので書類の確認を行ってから提出してください。
 - ・ 入学検定料・提出書類等は、いかなる理由があっても返還しません。
- [注] 外国人留学生とは、日本国籍を有しない者。ただし、永住者の在留資格を持って在留する者、または平和条約国籍離脱者等入管特例法に定める特別永住者は除く。

6. 試験科目

一 般	小論文試験	100 点
	英語Ⅱ（一般英語）	100 点
	専攻科目に関する口頭試問	100 点
	面接試験	
外国人留学生	小論文試験	100 点
	日本語（基礎学力）	100 点
	専攻科目に関する口頭試問	100 点
	面接試験	

7. 試験時間

	9：00～9：10	9：10～11：10	12：00～14：00	14：10～
一 般	受験注意	小論文試験	英語Ⅱ	専攻科目に関する口頭試問・面接試験
外国人留学生	受験注意	小論文試験	日本語	専攻科目に関する口頭試問・面接試験

8. 合格基準

一 般	小論文試験	外国語試験	専攻科目に関する口頭試問	面接試験
	60 点以上	60 点以上	60 点以上	適・否
外国人留学生	小論文試験	日本語試験	専攻科目に関する口頭試問	
	60 点以上	60 点以上	60 点以上	

9. 受験注意

- (1) 受験生は、試験開始 10 分前までに試験場に入室してください。
- (2) 試験場には、受験票、筆記具、辞書（電子辞書は不可）を持参することができます。
- (3) 答案はボールペンで記入してください。
（フリクションボールペン等の消せるペンは使用不可）

10. 合格発表

	試 験 日	合格通知発送日
秋 季	令和 7 年 11 月 17 日（月）	令和 7 年 12 月 10 日（水）
春 季	令和 8 年 1 月 26 日（月）	令和 8 年 2 月 25 日（水）

合格者には、本人宛に合格通知書、および入学手続書類を発送します。
不合格の場合にも文書で通知します。

11. 入学手続

- (1) 入学手続は合格通知書に同封する入学心得に従ってください。
- (2) 入学手続締切日 秋季：令和7年12月19日（金） 春季：令和8年3月6日（金）
- (3) 入学手続に必要なものは下記のとおりです。
- ① 学納金
 - ② 在学誓書（本大学院所定用紙）
 - ③ 入学時健康調査票
 - ④ 外国人留学生の方は、住民票、在留カード（両面）コピー、パスポートの写真ページのコピー

注意事項

- (1) 一度納入した学納金は、いかなる事情があっても返還しません。
- (2) 入学手続完了後やむを得ず入学を辞退する場合は、速やかに文書で届け出てください。
- (3) 金融機関の窓口で10万円を超える現金での振込を行う場合は、振込を行う者の本人確認書類（運転免許証、マイナンバーカード、パスポート等）の提示が必要となりました。

12. 学 納 金

項 目	金 額 (円)	納 入 方 法	項 目	金 額 (円)	納 入 方 法
入 学 金	※ 600,000	本学出身者は半額免除	歯学会入会金	※ 1,000	本学出身者は不要
授 業 料	1,130,000	実習費を含む 年2期に分納	歯 学 会 費	5,000	1 年分 (本学出身者は不要)
教育充実費	200,000	年2期に分納	災害共済会費	800	1 年分
計	1,930,000		計	6,800	

※印は入学時のみ

入学時納入金額 1,271,800 円 本学出身者の入学時納入金額 965,800 円

◆学納金は次年度以降において改定される場合があります。

13. 照会及び出願書類受付場所

〒464-8651 名古屋市千種区末盛通2-11

歯学部事務室（愛知学院大学大学院歯学研究科入試係）

TEL 〈052〉759-2111（代表）

14. そ の 他

入学試験問題は、前年度実施分の英語Ⅱ（一般英語）に限り歯学部事務室で配布しています。

歯 学 研 究 科 案 内

1. 授業科目及び担当教員

授 業 科 目		研 究 指 導 教 員		研 究 指 導 補 助 教 員	
歯 科 基 礎 系	口腔解剖学（口腔組織・発生学）	博士（医学）	本 田 雅 規		
	口腔解剖学（口腔解剖形態学）			博士（医学）	永 井 亜希子
	口 腔 生 理 学	博士（医学）	豊 田 博 紀	博士（歯学）	畑 中 伸 彦
	口 腔 生 化 学	博士（薬学）	鈴 木 崇 弘		
	口腔病理学（宇宙歯学）			博士（歯学）	久 保 勝 俊
				博士（歯学）	杉 田 好 彦
	口 腔 微 生 物 学	博士（歯学）	長谷川 義 明	博士（歯学）	西 川 清
	歯 科 薬 理 学	博士（医学）	濱 村 和 紀		
歯 科 臨 床 系	歯 科 理 工 学	博士（歯学）	林 達 秀	博士（歯学）	鶴 田 昌 三
	歯科保存学（保存修復学）	博士（歯学）	辻 本 暁 正	博士（歯学）	友 田 篤 臣
	歯科保存学（歯内治療学）	博士（歯学）	諸 富 孝 彦		
	歯科保存学（歯周病学）	博士（歯学）	三 谷 章 雄	博士（歯学）	菊 池 毅
				博士（歯学）	林 潤一郎
	歯科補綴学（有床義歯学）	博士（歯学）	武 部 純		
		博士（歯学）	尾 澤 昌 悟		
	歯科補綴学（高齢者・在宅歯科医療学）	博士（歯学）	木 本 統	博士（歯学）	竹 内 一 夫
				博士（歯学）	水 野 辰 哉
				博士（歯学）	宮 前 真
	歯科補綴学（冠・橋義歯学）	博士（歯学）	近 藤 尚 知	歯 学 博 士	橋 本 和 佳
				博士（歯学）	佐久間 重 光
	歯科補綴学（口腔インプラント学）	博士（歯学）	近 藤 尚 知		
	口腔外科学（全身疾患関連口腔内科学）	博士（歯学）	阿 部 厚		
	口腔外科学（病因病態制御口腔顎顔面外科学）	博士（歯学）	後 藤 満 雄	博士（歯学）	宮 地 斉
				博士（歯学）	渡 邊 哲
		歯学博士・博士（医学）	夏 目 長 門	博士（歯学）	新 美 照 幸
	口腔外科学（言語・口腔先天異常学）	歯学博士・博士（医学）	夏 目 長 門	博士（歯学）	新 美 照 幸
	歯 科 矯 正 学	博士（歯学）	宮 澤 健	博士（歯学）	藤 原 琢 也
				博士（歯学）	田 淵 雅 子
				博士（歯学）	佐 藤 琢 麻
	小 児 歯 科 学	博士（歯学）	名 和 弘 幸		
	歯 科 放 射 線 学			博士（歯学）	木 瀬 祥 貴
	口 腔 衛 生 学	博士（歯学）	嶋 崎 義 浩	歯 学 博 士	加 藤 一 夫
	歯 科 麻 酔 学	博士（歯学）	佐 藤 曾 士		
	歯 科 病 態 内 科 学	博士（医学）	成 瀬 桂 子	博士（医学）	中 村 信 久
	歯科病態関連外科学（外科腫瘍学）	博士（医学）	野 本 周 嗣		

2. 研究内容

教授 本田雅規

- ① 歯髄幹細胞の特性と再生に関する研究
- ② 歯髄組織の再生に関する研究
- ③ 脂肪幹細胞を用いた歯周組織再生に関する研究
- ④ 骨の再生に関する研究

准教授 永井亜希子

- ① からだと脳の性分化の分子機構
- ② エストロゲンの硬組織への作用機構
- ③ 内分泌攪乱作用の分子機構
- ④ 顎顔面の発生と性差

教授 豊田博紀 准教授 畑中伸彦

- ① 咬合・咀嚼障害が高次脳機能低下を引き起こす神経機構
- ② 大脳皮質における情報処理機構
- ③ 味覚情報を伝える神経細胞の組織上の位置と機能に関する研究
- ④ 咀嚼や嚥下が視床下部から受ける影響に関する研究
- ⑤ 咀嚼運動時の開口反射変調メカニズム

教授 鈴木崇弘

- ① タンパク質・ペプチドホルモン分泌の分子機構
- ② タンパク質分泌動態を可視化する生物発光イメージング法の開発と応用
- ③ 血糖値調節・骨形成・癌・唾液腺・神経伝達におけるタンパク質分泌
- ④ インスリン分泌機構の解明と医療研究への応用
- ⑤ 細胞間接着・三次元細胞培養による同調性タンパク質分泌の分子機構
- ⑥ 細胞膜受容体・膜タンパク質の開口分泌動態と細胞表面における局在

准教授 久保勝俊・杉田好彦

- ① 顎口腔領域の各種疾患の臨床病理学および分子生物学的研究
- ② 歯周病変および顎関節病変の病理組織学および分子生物学的研究
- ③ 癌・遺伝子治療におけるドラッグデリバリーシステムの開発
- ④ ヒトパピローマウイルス関連口腔粘膜疾患の研究および DNA ワクチンの開発
- ⑤ 角化性病変の予防・治療法の開発・研究
- ⑥ 生体材料の生体適合性に関する分子生物学的研究
- ⑦ レーザー光、LED 光の生体組織への影響に関する研究
- ⑧ 下顎切歯咬耗度、頭蓋縫合の閉塞状態からの年齢推定に関する研究
- ⑨ 宇宙歯学に関する研究

教授 長谷川義明 准教授 西川 清

- ① 歯周病関連細菌の菌体表層タンパク質の構造・機能解析
- ② 歯周病関連細菌がもつ病原因子の環境応答型発現調節機構とその抑制に関する研究
- ③ カンジダの増殖を抑制する口腔常在細菌の探索と真菌－細菌相互作用の研究
- ④ 歯肉縁下あるいはデンチャープラーク細菌叢の解析

教授 濱村和紀

- ① 糖鎖による骨代謝の制御に関する薬理学的研究
- ② 糖鎖による癌の悪性形質獲得機構に関する研究
- ③ 糖鎖による歯の形成制御に関する研究
- ④ 骨関連細胞の小胞体ストレス応答に関する薬理学的研究
- ⑤ 骨代謝疾患モデル動物を用いた薬理学的研究

教授 林 達秀 准教授 鶴田昌三

- ① 歯科材料の生体適合性
- ② 歯科精密鑄造理論に関する研究
- ③ 法歯学的歯科理工学
- ④ CAD / CAM 用材料と製作法
- ⑤ 組織工学的手法を用いた骨誘導および骨再生
- ⑥ 原子層堆積による歯科用インプラント材料の表面改質

教授 辻本暁正 准教授 友田篤臣

- ① 医療ビッグデータを用いた修復治療の臨床寿命予測に関する研究
- ② レーザーを応用したエナメル質および象牙質の強化・改質法の開発
- ③ エナメル質表層下脱灰およびう蝕象牙質モデルを確立するための研究
- ④ 超高透光性ジルコニアを用いた審美修復治療確立に関する研究
- ⑤ バイオアクティブ修復材料の分析化学的研究
- ⑥ 構造的欠陥を低減化したコンポジットレジン修復の創造に向けた研究

教授 諸富孝彦

- ① 抗菌光線力学療法の歯内治療への応用に関する研究
- ② 超音波ナノバブルを応用した次世代の根管洗浄・消毒に関する研究
- ③ 機能的近赤外分光法を用いた口腔領域の痛みの可視化・定量化
- ④ 人工知能 AI を用いた歯内治療領域の画像診断に関する臨床的研究
- ⑤ マイクロスコープと歯科用コーンビーム CT の歯内治療領域への応用に関する臨床的研究
- ⑥ 歯内治療に使用する材料・薬剤・器具に関する基礎的・臨床的研究
- ⑦ 象牙質－歯髄複合体再生療法確立のための新規スキャホールド材および象牙質補填材の開発
- ⑧ 根尖性歯周病関連細菌に関する研究
- ⑨ 歯髄炎および根尖性歯周炎の成立機序に関する基礎的研究

教授 三谷章雄 准教授 菊池 毅・林 潤一郎

- ① 歯周組織の再生に関する基礎的・臨床的研究
- ② 歯周病と全身疾患との関係についての基礎的研究
- ③ レーザーの歯周治療応用に関する基礎的・臨床的研究
- ④ インプラント治療及びインプラント周囲疾患に関する基礎的研究
- ⑤ 口臭の原因、治療法に関する基礎的・臨床的研究
- ⑥ 歯周病の病態形成および収束に関する免疫学的研究
- ⑦ 歯周病態モデルでの創薬開発に関わる基礎的研究
- ⑧ 骨代謝系に関する基礎的・臨床的研究
- ⑨ プラーク細菌の分子生物学的研究
- ⑩ 歯肉縁下プラークの抑制に関する基礎的・臨床的研究
- ⑪ 宿主の分子遺伝学的背景に基づいた歯周病診断に関する研究

教授 武部 純 特殊診療科教授 尾澤昌悟

- ① 支台歯ならびに顎堤部の負担能力に関する研究
- ② コンピュータ解析による有床義歯の力学的挙動に関する研究
- ③ 口腔インプラントに関する基礎的および臨床的研究
- ④ 顎顔面補綴に関する基礎的および臨床的研究
- ⑤ 磁石・磁性アタッチメントに関する基礎的および臨床的研究
- ⑥ CAD / CAM、3D プリンタを応用した補綴歯科に関する基礎的および臨床的研究

- ⑦ 咀嚼・嚥下機能・栄養状態に及ぼす有床義歯補綴の役割に関する研究
- ⑧ 歯科用材料の生物学的評価に関する研究
- ⑨ 骨造成に関する臨床的研究
- ⑩ 歯髄幹細胞を用いた組織再生に関する研究

教授 木本 統 准教授 竹内一夫・水野辰哉・宮前 真

- ① 食品の物性と軟質リライン義歯装着者の咀嚼との関係に関する研究
- ② 軟質リライン材への細菌付着に関する研究
- ③ 在宅歯科医療の認知度に関する調査
- ④ 口腔ケアの自立度の影響に関する研究
- ⑤ 高齢者における会話と食事のための舌接触補助床作製法に関する研究
- ⑥ 項目反応理論を応用した咀嚼能力評価アプリの開発
- ⑦ モバイル端末の3次元スキャナーを利用した遠隔情報活用に関する研究
- ⑧ ドラッグリポジショニングを用いた骨形成促進の検討
- ⑨ 低出力超音波パルス照射による骨形成促進に関する研究
- ⑩ インプラント支持顎顔面補綴装置を用いた歯科補綴治療効果の検討
- ⑪ インプラントに関する基礎的および臨床的研究
- ⑫ 歯の欠損が咀嚼能力や学習・記憶能力に及ぼす影響についての研究
- ⑬ 口腔の抗加齢（アンチエイジング）に関する研究
- ⑭ 口腔機能が睡眠に与える影響に関する研究

教授 近藤尚知 准教授 橋本和佳・佐久間重光

- ① インプラント周囲組織の再生療法に関する研究
- ② クラウンブリッジとインプラントによる審美修復に関する研究
- ③ 宇宙歯学に関する研究
- ④ マウスガードの効果（スポーツ歯学）に関する研究
- ⑤ デジタルワークフローによる歯冠修復法に関する研究
- ⑥ インプラント周囲炎の治療法に関する研究
- ⑦ 口腔内スキャナーの精度（デジタル・デンティストリー）に関する研究
- ⑧ 硬組織・軟組織のティッシュエンジニアリング
- ⑨ スプリント療法による下顎運動の変化に関する研究
- ⑩ 咀嚼機能と顎関節に関する研究
- ⑪ 顎機能障害の臨床検査法に関する研究
- ⑫ 咬合回復と脳機能の関連についての研究

教授 阿部 厚

- ① 顎顔面領域手術後の気道変化に関する研究
- ② 口腔機能低下症や口腔外科手術と栄養状態に関する研究
- ③ 顎関節疾患における病態の解明と新規治療法の確立
- ④ 顎変形症手術における術後の形態変化に関する研究
- ⑤ 口唇口蓋裂に対する骨および軟骨移植に関する研究
- ⑥ 口唇口蓋裂の顎発育や言語発達に関する研究
- ⑦ 周術期口腔機能管理の効果に関する研究
- ⑧ 難治性粘膜疾患の臨床病理学的研究
- ⑨ 口腔顔面痛障害に関する研究

教授 後藤満雄 准教授 宮地 斉・渡邊 哲

- ① 口腔癌および口腔粘膜疾患に関する治療と臨床・病理学的研究、疫学的研究、腫瘍免疫応答
- ② 口腔癌における腫瘍免疫学的研究とシグナル伝達
- ③ 顎顔面外傷の治療研究
- ④ 顎変形症に関する矯正手術の改良、治療研究
- ⑤ 摂食嚥下障害の評価とリハビリテーションに関する研究
- ⑥ 慢性上気道障害の顎口腔系からの解析と評価
- ⑦ 顎顔面と歯に関する発生異常の遺伝子解析
- ⑧ タバコの口腔への影響に関する臨床的・分子生物学的研究
- ⑨ 睡眠時無呼吸症に関する研究

特殊診療科教授 夏目長門 准教授 新美照幸

- ① 口唇口蓋裂の疫学的研究
- ② 口唇口蓋裂ならびに先天性症候群の原因と予防に関する遺伝子解析も含めた各種研究
- ③ 口唇口蓋裂等口腔先天異常疾患の治療とケアに関する研究
- ④ 国際交流、海外医療援助に関する研究
- ⑤ 音声言語・言語教育ならびに治療に関する研究
- ⑥ 口腔ケア学に関する研究
- ⑦ 有病者に対する歯科口腔外科治療に関する研究
- ⑧ 口腔外科疾患と治療に関する研究
- ⑨ 小児口腔機能発達に関する研究
- ⑩ 言語聴覚士との連携医療と言語治療に関する研究

教授 宮澤 健 准教授 藤原琢也・田淵雅子・佐藤琢麻

- ① 歯の移動と顎骨の成長発育に関連する骨改造現象における組織、病理、生化学的メカニズムの解明
- ② 骨形成因子の矯正臨床への応用のための基礎的研究
- ③ 口腔周囲筋の機能と顎顔面骨格の成長発育との関連性についての基礎的ならびに臨床的研究
- ④ 不正咬合ならびに不正咬合の改善が心身におよぼす影響に関する研究
- ⑤ 顎顔面骨格の形成過程における遺伝的要因の関わりについての研究
- ⑥ 矯正歯科治療法の進歩に向けての装置、材料の改良と開発
- ⑦ 成人の矯正歯科治療に関する研究
- ⑧ 顎顔面部の3次元分析による新たな診断法の確立

教授 名和弘幸

- ① 小児・障害児の咬合および口腔機能の発達とその異常による影響と障害児の矯正歯科治療に関する研究
- ② 障害児者の口腔疾患の特異性および小児、障害児者が歯科治療時に表出する行動の心理生理学的研究
- ③ 歯髄幹細胞を用いた歯髄・歯周組織再生法に関する研究
- ④ う蝕予防効果を備える歯科材料の小児・障害児への応用に関する研究
- ⑤ 小児・障害児の口腔・摂食機能の発達に関する研究
- ⑥ 小児・障害児者の歯の外傷に関する研究
- ⑦ 小児・障害児者の歯周疾患、齲蝕の早期予防システムの開発に関する研究

准教授 木瀬祥貴

- ① 顎顔面領域疾患の CT 診断
- ② 口腔癌の画像診断
- ③ 顎関節症の画像診断
- ④ 超音波診断法の応用
- ⑤ インプラント診療における画像診断
- ⑥ MR 検査法の応用
- ⑦ 咀嚼筋の画像診断
- ⑧ 各種歯科用 X 線機材の性能評価
- ⑨ 歯科診療における放射線被曝と防護
- ⑩ 人工知能（深層学習）による画像診断精度の向上

教授 嶋崎義浩 准教授 加藤一夫

- ① 口腔環境中のフッ素とミネラルの動態
- ② 口腔バイオフィルム内の齲蝕関連菌の分布
- ③ 歯科公衆衛生プログラム
- ④ 母子口腔保健
- ⑤ 学校口腔保健
- ⑥ 成人・高齢者口腔保健
- ⑦ 障害児・者口腔保健
- ⑧ 口腔と全身の健康の関連
- ⑨ 8020 運動・生涯 28 の推進
- ⑩ 齲蝕・歯周病のリスク因子
- ⑪ 歯・口腔の機能と健康増進
- ⑫ ライフコース研究

教授 佐藤曾士

- ① 臨床麻酔全般に関する研究
- ② 経鼻気管挿管に関する臨床研究
- ③ 口腔顔面痛に関する臨床研究
- ④ ミクログリアと神経障害性疼痛に関する研究
- ⑤ 乳幼児マウスを用いた麻酔後脳神経障害に関する研究

教授 成瀬桂子 准教授 中村信久

- ① 糖尿病合併症発症・進展機序の解明と新規治療法の開発
- ② 糖尿病合併症に対する新しい治療法としての再生医療研究
- ③ 歯周炎と全身疾患—歯周炎が全身疾患に及ぼす影響とその機序の解明
- ④ 糖尿病合併歯周炎に対する新規治療法の開発
- ⑤ 糖尿病と歯周病—双方向性に関する基礎研究と臨床研究
- ⑥ アディポサイトカインであるケメリンの生理学的作用の解明
- ⑦ 骨のリモデリングにおける全身疾患の関与と新規治療法の開発
- ⑧ 水素療法の生体への影響について

教授 野本周嗣

- ① ヒト固形がん発生や進展に関わる遺伝子異常の解明
- ② 消化器がんの悪性度、予後に関わる分子の同定と臨床応用
- ③ 口腔内疾患と消化器疾患の関連の解明
- ④ 扁平上皮癌の発生、進展に関わる分子の解明
- ⑤ がんの発生母地での異常分子の同定

3. 履修方法

- ① 4年以上在学し、下記の単位を修得しなければならない。
- | | | |
|---------|--------|--------------|
| 主 科 目 | 24単位以上 | } 合計 30 単位以上 |
| 副 科 目 | 4 単位以上 | |
| 選 択 科 目 | 2 単位以上 | |
- ② 副科目、選択科目の選択及び論文の作成、その他の研究一般については、あらかじめ主科目担当教授の指導を受けなければならない。
- ③ 学位論文は主科目について提出するものとする。
詳細については、オリエンテーションで説明する。

4. 学位の授与

所定の単位を修得し、専攻分野における、独創的研究にもとづく学位論文を提出して、審査に合格し、かつ最終試験に合格したものに博士（歯学）の学位を授与する。

5. 奨学金制度

(1) 日本学生支援機構（第一種）	貸与月額	80,000 円又は 122,000 円
(2) 森田奨学育英会（4 年生対象）	給付年額	360,000 円
(3) 岩垂育英会（基礎系専攻者対象）	給付年額	600,000 円
(4) 大幸財団（学芸奨励生）	給付年額	360,000 円
(5) 愛知学院大学開学 50 周年記念奨学金	給付年額	300,000 円
(6) 愛知学院大学大学院特別奨学金（2 年生対象）	給付年額	300,000 円

6. 長期履修学生制度

本研究科では、職業を有している等の事情^(注1)によって標準修業年限である4年を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了する^(注2)ことを願い出た者については、審査の上、これを許可することがあります。

この制度の適用者は「長期履修学生」といい、当該学生の授業料総支払額は、標準修業年限による修了者と同額になります。

この制度の適用を希望する場合は、合格発表後直ちに歯学部事務室へ申し出てください。

（注1）社会人入試の入学者で、職業を有する者の他、出産・育児・介護等を行う必要のある者等、本研究科が適当と認める者とする。

（注2）在学年限は8年を超えることはできません。ただし、許可された修業年限の短縮を願い出ることはできます。

7. 早期終了制度

本研究科は標準在学年限は4年ですが、「優れた研究業績」を上げたと認められる者の在学期間を、当該課程に3年以上在学すれば足りる早期修了制度を導入しています。

参 考

専攻生・研究生

大学院歯学研究科の他に大学歯学部には専攻生・研究生の制度があります。前年度の授業料は専攻生 10 万円、研究生は 15 万円です。詳細は歯学部事務室までお問い合わせください。

なお、その規程は次の通りです。

歯学部専攻生規程

- 第 1 条 本規程は学則第 53 条の 4 に基いた歯学部専攻生の取扱いについて定めるものである。
- 第 2 条 歯学部専攻生（以下専攻生という）とは、歯学部教授の指導を受け、基礎および臨床の特定科目について履修、研究する者をいう。
- 第 3 条 専攻生を志願することの出来る資格は学則第 53 条の 2 の規程に準ずる。
- 第 4 条 専攻生を志願する者は、所定の願書を提出するものとする。
- 第 5 条 前条の志願者は専攻科目の指導教授の選考を受け歯学部教授会の承認を得て学長が入学を許可する。
- 第 6 条 専攻生の入学許可は毎学年の始めとする。
- 第 7 条 専攻生の履修期間は 1 ヶ年以上とし、その修了は 1 ヶ年を越えた随時とする。
- 第 8 条 専攻生の履修時間は週 30 時間以上とする。
- 第 9 条 専攻生は修了時に指導教授による修了認定をうけ、指導教授はその結果を学部長を経て学長に報告しなければならない。
- 第 10 条 専攻生の修了が認められれば修了証書を授与する。
- 第 11 条 専攻生は本規程のほか全て愛知学院大学の学則によるものとする。

附 則

- 昭和 44 年 4 月 1 日より施行する。
- 昭和 52 年 4 月 1 日より施行する。
- 昭和 57 年 4 月 1 日より施行する。
- 平成 6 年 4 月 1 日より施行する。
- 平成 14 年 4 月 1 日より施行する。

歯学部研究生規程

- 第 1 条 本規程は学則第 53 条の 4 に基いた歯学部研修生の取扱いについて定めるものである。
- 第 2 条 歯学部研究生（以下研究生という）とは、専門なる職を有するものが、歯学部教授の指導のもとに随時で、基礎および臨床の特定科目について研究するものをいう。
- 第 3 条 研究生を志願することの出来る資格は、学則第 53 条の 2 の規程に準ずる。
- 第 4 条 研究生を志願する者は、所定の願書を提出するものとする。
- 第 5 条 前条の志願者は指導教授の選考を受け、歯学部教授会の承認を得て学長が入学を許可する。
- 第 6 条 研究生の入学許可は随時とする。
- 第 7 条 研究生の研究期間は特に定めない。
- 第 8 条 研究生の研究時間は週 8 時間を超えるものとする。
- 第 9 条 研究生は本規程のほか全て愛知学院大学の学則によるものとする。
- 第 10 条 研究生の研究歴の算定は在籍期間に 0.7 を乗じたものとする。

附 則

- 昭和 36 年 4 月 1 日より施行する。
- 昭和 57 年 4 月 1 日より施行する。
- 平成 6 年 4 月 1 日より施行する。
- 平成 14 年 4 月 1 日より施行する。
- 平成 18 年 4 月 1 日より施行する。

社 会 人

出願理由説明書

※は記入不要

[illegible]

社 会 人

研究計画書

※は記入不要

[illegible]

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal dashed lines, typical of notebook paper. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no handwriting or other markings on the paper.

2026（令和8年）年度

一般・社会人

入 学 志 願 票

※は記入しないこと。

受験
番号

※ 3DD

該当する数字・年号に○をつけてください。

入試区分		1. 秋季 2. 春季		写 真 貼 付 欄 カラーに限る 脱帽・上半身・正面 無背景で最近3ヶ月 以内に撮影したもの (たて4cm×よこ3cm)		
		1. 一般入試 2. 社会人入試				
専攻科目						
指導教授		印				
受 験 科 目	一般	留学生	英語 I	英語 II・独語・仏語（自国語を除く） （○をつけてください）		
			英語 II・独・仏（自国語を除く） （○をつけてください）	日本語		
	社会人		小論文	英語 II		
		留学生	小論文	日本語		
フリガナ				1. 男	国籍	1. 日本 2. その他 ()
氏 名				2. 女		
英 字				電話(自宅)	()	—
生年月日		西暦	年 月 日生	年齢()	電話(携帯)	() —
現 住 所		〒 —				
メールアドレス		@				
学 歴 ・ 職 歴	西暦		年 月 日	国 ・ 公 ・ 私立		1. 卒 業
			大学 学部 学科		2. 卒業見込	
	西暦		年 月 月	～西暦 年 月		1. 修 了
			臨床研修医（勤務先名）		2. 修了見込	
西暦		年 月 月	～西暦 年 月			
西暦		年 月 月	～西暦 年 月			
保 証 人 (全員記入すること)	フリガナ			志願者との続柄		
	氏 名					
	現住所	〒 —				
		電話：() —				

愛知学院大学大学院歯学研究科

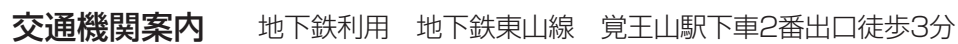
末盛キャンパス（入学試験場）
（臨床教育研究棟）

臨床教育研究棟

中央・西館

北・南館

通小広



電話 〈052〉 759-2111 (代表)

愛知学院大学

日進キャンパス

〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池 12

電話 (0561) 73-1111 (代)

名城公園キャンパス

〒462-8739 名古屋市北区名城 3-1-1

電話 (052) 911-1011 (代)

楠元キャンパス (法人本部・歯学部・薬学部・短期大学部・歯科技工専門学校)

〒464-8650 名古屋市千種区楠元町 1-100

電話 (052) 751-2561 (代)

末盛キャンパス (歯学部・附属病院)

〒464-8651 名古屋市千種区末盛通 2-11

電話 (052) 759-2111 (代)

愛知学院大学ホームページ

<http://www.agu.ac.jp/>